


 Zun do

寸 洞

目 次

考える道具としての言葉	中村 征夫 ……1	研究室Mac端末からのCD-ROM利用法	……………6
館蔵資料紹介No. 20		図書館随想	林 崇子 ……8
「うつろ（うつぼ）舟」	田中嘉津夫 ……3	お知らせ	……………8
2000年 購入雑誌変更リスト	……………5		

考える道具としての言葉

中村 征夫

日本語であれ、英語であれ言語には2つの重要な役割がある。一つは情報あるいは意志を伝達する手段としての役割であり、もう一つはものごとを考える手段としての役割である。前者はおそらく言語が誕生した第一義的理由かと思われ、今さら説明を要しないだろう。昨今、「国際性」や「国際化」の課題として英語教育の重要性が叫ばれるのも根源はここにある。しかし、後者の役割は必ずしも十分理解されているとは言い難い。少なくとも今日の日本の学校教育において、日本語教育であろうと英語教育であろうと考える道具としての言語教育が意識的に行われているとは思えない。

何か物事を考えるとき人はみな言葉で考える。紙の上に文字としては書かないかも知れないが、頭の中では起承転結の整ったちゃんとした文章を完成してはじめて結論も導き出すことができる。夢の中でも外国語で話しているような外国語の堪能な人は別にして、普通は日本人であれば日本語で考える。もっとも最近の若者の中には言語を使わずに、画像

と画像をつなぎ合わせることで結論を導き出すことができる“画像人間”も誕生しているのかも知れない。しかし少なくとも私は“言語人間”であって、言葉を使わずに論理的展開を深めるということはできない。私にとって言葉は明らかに考えるための道具である。したがって、曲がった定規を使っていると何度引き直してもまっすぐな線が引けないように、正しい言葉使いをしていない人は何度考え直しても正しい結論が得られないことになる。そういう意味において、科学を志す者にとって、少なくとも一つの言語を、多くの場合母国語を、正しく使いこなせるということは最も基本的な条件の一つと言えよう。

もう一つ忘れてならないのは、言葉を使って考えるという行為を通して、人間はどうかや思考能力そのものも高めていると思われる点である。人間は思考能力が高くなったので言語を持つに至ったのであろうが、同時に言葉を使って考えるようになったことによって、他の動物とは比べものにならないほど高い思考能力を獲得したのだと思われる。この

考え方からすれば先に述べた“画像人間”に高い思考能力を期待することは出来ないということになる。また自らが能動的に言葉を使う場合はもちろんのこと、受動的に他人の言葉を聞いて言語そのものを身につけていく過程においても、その言葉の意味を理解しようとすることによって思考能力を育てているのだと思われる。この点について司馬遼太郎も「まだ目をつぶっている赤ちゃんに語りかけるときでさえ、『犬が来た。』と言うような粗雑な説明ではなく、『向こうから、八百屋さんが飼っている赤い犬が来た。』というようにきちんと説明してあげることが大切である。」と言っている。粗雑な言語生活の中で育つと、その子が話す言葉の密度が失われるだけでなく、論理的思考能力そのものも粗雑になるのだろう。そういう意味では、幼児期を緻密な言語生活の中で過ごすということもまた科学者になるための必要条件なのかもしれない。幼児に接する時間の最も長い母親やベビー・シッターがどんな言葉で幼児に話しかけているのかはその子の一生を左右するほど重要な問題なのだ。

私は論理学なるものを学んだ事は無いが、言葉は論理そのものなのではないかと日頃から思っている。日本語には日本語の、英語には英語の論理がちゃんとあることは、もしも言語に論理が無かったら、お互いに相手が言っていることを理解できず、言語として機能しなくなることを考えてみればよく判る。ときどき「日本語は非論理的な言語だ。」という人がいるが、それはその人が現代の日本語の論理を十分理解していないだけである。日本語であれ英語であれ最初から論理的に完全な構造をもっていた訳ではない。不完全な状態から出発して、何千年という歴史の中で試行錯誤を繰り返しながら、正確にかつ簡潔に表現できるシステムを目指して進化してきたのであり、現在もまた進化し続けている。今日我々が昔の人、例えば徳川家康が家臣に出した手紙を読むと、字も大きいことながら、その内容も大変大ざっぱなのに驚く。現代ならもっとこまごました指示を書くと思われるところだが、おそらく当時の日本語はこまごましたことまで記述できるほど論理的に進化していなかったのだと思われる。逆に言えば、当時の人々にとっては以心伝心、阿吽の呼吸で理解する能力や直感が大切で、論理的な思考能力は乏しかったということかもしれない。

言語も道具である以上、大工道具などと同じように、常日頃の手入れが大切であ

り、少しでも良い道具を手に入れたり、使い方を習熟しておくこともまた重要である。日頃の手入れという点では、異分野の文章を沢山読むことが有効であり、図書館の役割の一端もここにある。私はお手本となる文章を何度も音読するのが一番効果があると思っている。少しでもよい道具をとということになると、例えば科学者にとって日本語と英語はどちらがよい道具かと言う問題が生じて来る。この場合、情報伝達の道具としてどちらが良い道具かということと、考える道具としてどちらがよい道具かということは区別して考えるべきである。前者の点では英語の方に利があるかと思うが、後者の点では日本語も英語と遜色がない。明治時代以前の日本語と比べれば、現代の日本語は考える道具として急速に進化したといえるだろう。夏目漱石以来、日本語の近代化・論理化に身を捧げて来た人々に感謝したい。使い方を習熟しておくという点については、もう沢山作文する以外に方法はないだろう。

フランシス・ベーコンの言葉に「読書は馬鹿者をつくり、作文は正確なる者をつくる。」というのがある。私はこの原語も、どういう脈絡の中で語られた言葉なのかも知らないが、与えられた文字面を受動的に眺めているだけでは、情報は入手できても思考回路は作動しないぞという警鐘であり、文章を書くという能動的な姿勢があつてはじめてすみずみまで気を配った正確な論理的思考が可能となることを述べた言葉だと勝手に解釈している。ベーコンならずとも思考力を育てるには作文が一番と思うが、この点は現代の学校教育が最もおろそかにしている点ではないだろうか。長い文章を書かせること自体が少なすぎるし、書かせても読書感想文のような主観的、情緒的な文章だけである。そうではなくて、道案内や取扱説明書のような理詰めの文を、誰が読んでもよく分かるように書く練習や、賛成反対派に別れて討論する練習など、言葉が考えるための道具であることを意識した教育、論理的思考能力を高めることを目指した訓練を子ども時代に十分積ませることが、科学技術立国を目指す国の教育としては一番大切なことではないだろうか。

(なかむら ゆきお：岐阜大学農学部長)

館蔵資料紹介No.20

「うつろ（うつぼ）舟」

田中嘉津夫

著者の希望により掲載記事を削除

2001. 8. 30 電子図書館化推進委員会

(たなか かずお：工学部教授)

2000年 購入雑誌変更リスト

雑誌名	配架場所	雑誌名	配架場所
<新規購入雑誌>			
Linux Magazine (アスキー)	バーチャルラボ	Journal of atmospheric science	図土木
Maclife (ビー・エヌ・エヌ)	バーチャルラボ	Journal of cardiovascular pharmacology	医分館
カウンセリング研究(日本カウンセリング学会)	教CR	Journal of clinical oncology	医分館
月刊フレッシュフードシステム	農農産流	Journal of computational physics	図土木
考古	教国語安東	Journal of consulting and clinical psychology	教CR
集中治療	医分館	Journal of dental research	医分館
情況(情況出版)	教法経	Journal of personality assessment/the Society for personality Assessment	教CR
食料政策研究(食糧・農業政策研究センター)	図農学	Journal of phenomenological psychology	教CR
新地理(日本地理教育学会)	教地理	Journal of political economy	図社会
生活経済政策(生活経済政策研究所)	地政策	Journal of spinal disorders	医分館
精神科治療学(星和書店)	教CR	Journal of the Meteorological Society of Japan ; Ser. 2 (日本気象学会)	図土木
精神分析研究(日本精神分析学会)	教CR	Journal of the neurological sciences	医分館
精神療法(金剛出版)	教CR	Language teacher (和)	地文化
組織科学(白桃書房)	地政策	L'evolution psychiatrique	教CR
ターミナルケア(三輪書店)	医短樋口	Machine translation	工情報コース
中国語文	教国語安東	Melanoma research	医分館
日経インターネットテクノロジー(日経BP)	総情処センター	Microscopy research and technique	医分館
日経オープンシステム(日経BP)	総情処センター	Nature medicine(Nature Japan)	農家畜病院
日経コミュニケーション(日経BP)	総情処センター	Neuroreport	医分館
文学遺産	教国語安東	Organic letters(ACS Pub.)	図化学
文物	教国語安東	Parasitology	医分館
箱庭療法学研究(日本箱庭療法学会)	教CR	Philosophical magazine letters	工電子コース
ラテンアメリカレポート(JETROアジア経済研究所)	教法経	Public health nursing	医短樋口
Advances in differential equations	工情報コース	Quality of life research	医短足立
American journal of psychotherapy	教CR	Quarterly journal of economics	農農業経営
Archives of neurology	医分館	Reliability engineering and system safety	図土木
Australasian journal of combinatorics	工情報コース	Schizophrenia bulletin	教CR
Boundary layer meteorology	図土木	SIAM journal on mathematical analysis	工情報コース
Bulletin de psychologie	教CR	Visual neuroscience	医分館
Cell death and differentiation	医分館	Water science and technology	図土木
Chemosphere	図土木		
Clinical rheumatology	医分館	<購入中止雑誌>	
Cognitive neuropsychiatry	教CR	Farming japan (和)	農農産流
Computer assisted language learning	工情報コース	New food industry(和)	農農場
Current opinion in cell biology	医分館	Quality nursing(和)	医短樋口
Environmental pollution	図土木	医学中央雑誌	医分館
Evolution	農生物制御	橋梁&都市	図土木
Gastrointestinal endoscopy	医分館	金属	教技職
Head and neck	医分館	公衆衛生	図畜産
Hearing research	医分館	国語国文	地文化
Heart	医分館	国語と国文学	地文化
Hippocampus	医分館		
Intensive care medicine	医分館		
JALT journal (和)	地文化		
Journal of abnormal psychology	教CR		
Journal of applied meteorology	図土木		
Journal of atmospheric and oceanic technology	図土木		

国文学, 解釈と教材の研究	地文化	Current contents Agriculture,	農獣医
国文学解釈と鑑賞	地文化	biology & environmental science	
国家学会雑誌	教法経	Current contents; Clinical medicine	医分館
最新医学	医分館	CD-ROM	
資源環境対策	図化学	Current contents; Life science	農獣医
ジュリスト	教法経	Current contents; Life sciences CD-	医分館
神経眼科	医分館	ROM	
診断と治療	医分館	Current problems in cardiology	医分館
地形	教地理	Deutscher Ausschuss fur Stahlbeton	図土木
都市問題	医分館	Digestion	医分館
日本造船学会論文集	図土木	Earth and planetary science letters	教地学
日本文学	地文化	Educational and psychological	教CR
年報村落社会研究	地構造	measurement	
病院	医分館	Environment and behavior	医分館
文学	地文化	Experimental neurology	医分館
文学・語学	地文化	Flow, turbulence and combustion	図理工
別冊ジュリスト	教法経	Geografiska annaler. Ser. A	教地理
法学論叢	教法経	Geographica helvetica	教地理
法律時報	教法経	Harvard law review	教法経
理想	教哲学	Helvetica chimica acta	図化学
臨床科学	医分館	Human development	教CR
臨床ト研究	医分館	Index medicus. New Series	医分館
Acta oncologica	医分館	Industrial & engineering chemistry	図化学
Aggressive behavior	教心理	research	
AIChE journal	図化学	International dairy journal	図畜産
American annals of the deaf	図哲学	International journal for numerical	図土木
American Ceramic Society bulletin	図化学	and analytical methods	
American economic review	図社会	International journal of damage	図土木
American entomologist	農生物制御	mechanics	
Archiv fur Rechts-und	教法経	International journal of hydrogen	図物理
Sozialphilosophie		energy	
Arteriosclerosos, thrombosis, and	医分館	Journal of biography	図生物
vascular biology		Journal of cell biology	図化学
Australian journal of chemistry	図化学	Journal of composites for	図土木
Bauingenieur	図土木	construction	
Behavioral ecology and sociobiology	地構造	Journal of computing in civil	図土木
Biochemical pharmacology	医分館	engineering	
Boreas	教地理	Journal of construction engineering	図土木
British ceramic transactions	図化学	and mamagement	
Bulletin of the American	教地理	Journal of economic literature	図社会
Meteorological Society		Journal of economic perspectives	図社会
Canadian journal of chemistry	図化学	Journal of educational and	教CR
Catalysis reviews	図化学	behavioral statistics	
Cell calcium	医分館	Journal of educational measurement	教CR
Ceramic abstracts	図二次	Journal of energy engineering	図土木
Ceramic forum international	図化学	Journal of experimental education	教CR
Chemical engineering progress	図化学	Journal of flow visualization and	図土木
Corrosion	教技職	image processing	
Current contents on diskette with	農利用	Journal of marketing research	農農業経営
abstracts Agriculture, biology &		Journal of parasitology	医分館
environmental sciences		Journal of peptide research	医分館
Current contents on diskette with	農利用	Journal of performance of	図土木
abstracts Engineering computing and		constructed facilities	
technology		Journal of professional issues in	図土木
Current contents on diskette; Life	工生工武居	engineering education	
sciences		Journal of research in personality	図哲学
		Journal of semantics	地文化岩田

Journal of surveying engineering	図土木	Proceedings of the Society for experimental mechanics	図土木
Journal of the American Ceramic Society	図化学	Progress in biophysics and molecular biology	医分館
Journal of the American Society of Farm Managers and Rural Association	図農学	Progress in cardiovascular diseases	医分館
Journal of the atmospheric sciences	教地理	Prostaglandins	医分館
Journal of volcanology and geothermal research	教地理	Psychometrika	教CR
Kidney international	医泌尿	Quaternary research	教地理
Litteraria pragensia	地文化内海	Radiation research	医分館
Management science	図土木	Radiologic clinics of North America	医中放
Materials performance	教技職	Regional studies	教地理
Molecular ecology	図生物	Scandinavian journal of plastic and reconstructive surgery and hand surgery	医分館
Molecular immunology	医分館	Science; New Series	工生工武居
Mycologist	図生物	SCJ; Scandinavian cardiovascular journal	医分館
Natural language semantics	地文化岩田	Soil biology and biochemistry	図農学
Naunyn-Schmiedeberg's archives of pharmacology	医分館	Surgery	医分館
New scientist	図理工	Synthetic communications	図化学
Nonlinear analysis	工情報コース	Talanta	図化学
Nucleic acids research	医病1	Textile chemist and colorist	図化学
Observatory	図物理	Transactions. New Series	教地理
Oikos	図生物	Veterinary dermatology	農家畜病院
Past and present	教法経	Zeitschrift fur Heilpadagogik	図教育
Physica status solidi; A	図電気	Zeitschrift fur philosophische forschung	教哲学
Physiological entomology	図生物		
Phytomorphology	図生物		

研究室Mac端末からのCD-ROM利用法

CAonCD及び医学中央雑誌各CD-ROMの研究室からの利用が従来のWindows版に加えてMac版も可能になりましたのでお知らせします。

Mac版CD-ROMソフトがAppleTalk（通信プロトコル）上でしか動作しないため、学内基幹LAN（TCP/IP）上で簡単な設定だけで稼働するWindowsとは違ってMac用のサーバ環境の整備等が必要なMac版の提供が遅れていました。

（化学情報協会の説明では、”各大学からのTCP/IPで動作するソフト開発の要望を受け、CAS（アメリカ）に要望は出していますが開発の時期は未定”とのことでした。）

Mac用のサーバ環境の整備に当たっては、本学工学部化学系教官、大阪大学附属図書館システム管理掛及び本学総合情報処理センターにご協力を頂きました。

1 前準備（IPRemote AppleTalkのインストール）

(1) 接続ソフト (IPRemote AppleTalk) のダウンロード

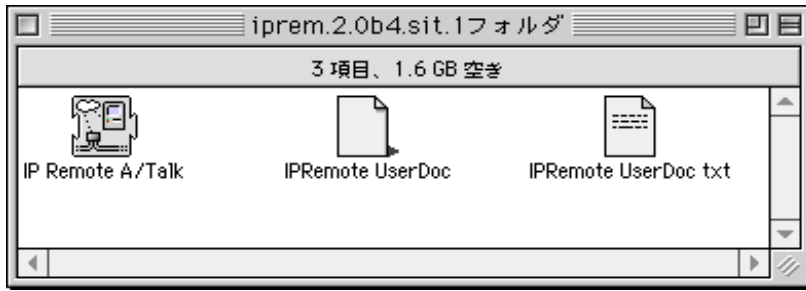
お使いのMac端末に合った下記の何れかのフリーソフトをダウンロード (FTP) してください。

- ・ MacTCP 1.1以降 → IPRemote AppleTalk 1.0.1 (ipremote.1.0.1.hqx) をダウンロード。
- ・ Open Transport 1.1以降 → IPRemote AppleTalk 2.0b4 (iprem.2.0b4.sit.hqx) をダウンロード。

接続ソフトのインストール作業は、1回行えば次回から行う必要はありません。

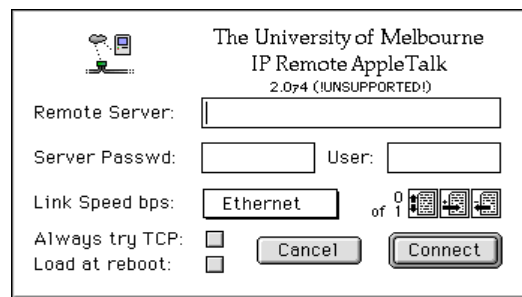
既にインストールが済んでいる利用者は、次項” (2) IPRemoteからサーバに接続”にお進み下さい。

以下は、IPRemote AppleTalk 2.0b4の動作確認例です。



ダウンロード後圧縮ファイルを解凍すると、上記画面フォルダが作成されます。
 上記画面内のIP Remote A/Talkアイコンを機能拡張フォルダに入れて再起動してください。
 (Macintosh HD→システムフォルダ→機能拡張フォルダにIP Remote A/Talkアイコンをドラッグ→再起動)

(2) IPRemoteからサーバに接続
 アップルメニュー (リンゴマーク) →コントロールパネル→AppleTalk (下記画面) を開きます。



上記画面のRemote Server欄にサーバのIPアドレスを入力してください。

サーバのIPアドレスはこちらをご覧ください→IPアドレス (学内専用)

注:この画面に辿り着くまでは操作をゆっくり行ってください。
 テストでは、急いで操作したときに画面がたびたびフリーズしました。

経路先(初期値はEthernet等になっています)を上記画面のようにIPRemoteに変更してください。

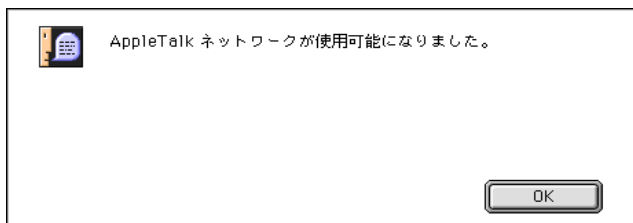
注:Node Number XXX is already used...エラーの回避方法は下記をご参照ください。

ノード番号が重複して利用が出来ない場合は、上記画面のAppleTalkアドレス欄の”利用者が設定”ボタンをクリックしてチェックを付けて下さい。

・ノード番号を別番号に変更→ 経路先をEthernet等に変更→ AppleTalk画面を閉じる→ 保存確認画面で保存を選択

・再度上記”(2)IPRemoteからサーバに接続”を行って下さい。

AppleTalkアドレス欄の”利用者が設定チェック欄”は、後述”4 サーバとのネットワーク切断”の際に必ず初期状態(チェック無し)に戻しておいて下さい。



OKボタンを押してください。

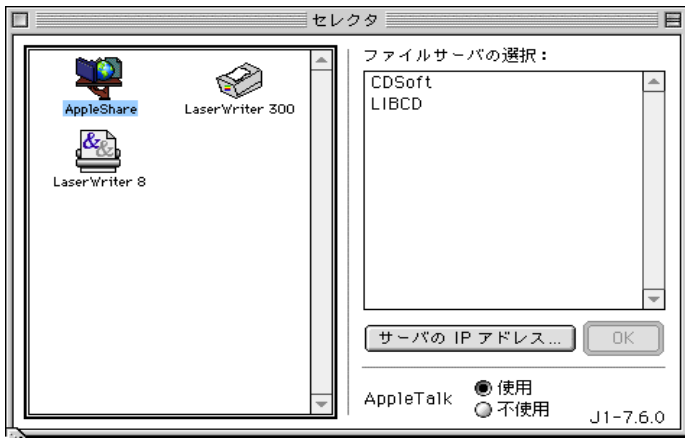
AppleTalk画面を閉じます
 (上記画面で保存ボタンを押してください。)

ここからは、各CD-ROMの検索ソフトのインストールです。
 以下は、CA on CD(Mac版)CD-ROMのインストール方法等ですが、医学中央雑誌についても流れについては同様です。医学中央雑誌については、医学部キャンパス専用ページをご参照ください。

2 検索ソフト(インストール)及び各CD-ROMのマウント

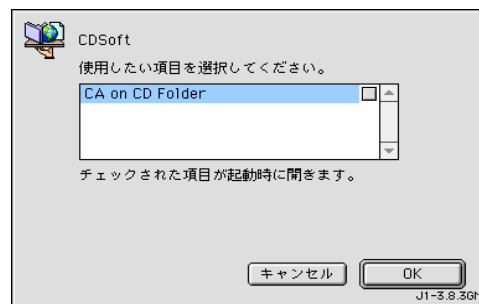
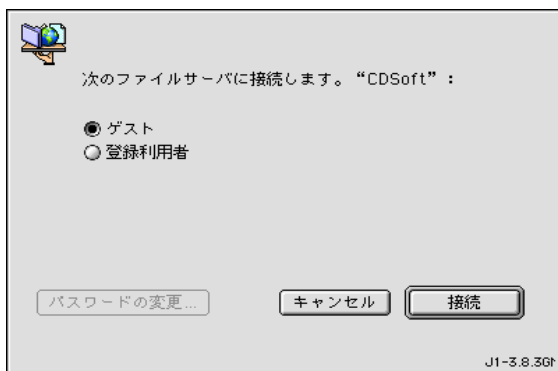
(1)サーバへの接続

リンゴマーク→セレクト→AppleShareで下記画面になります。



(2)検索ソフトのマウント

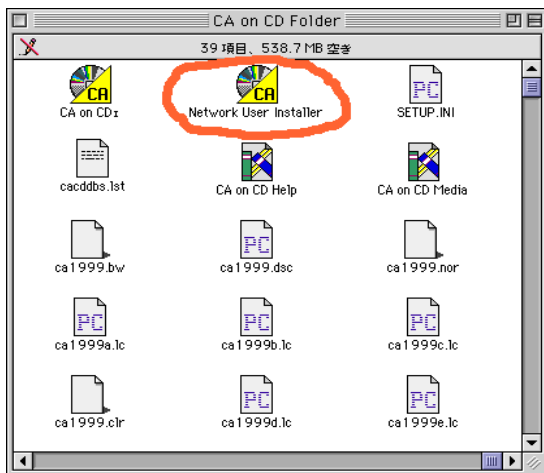
CDSoftを選択してOKボタンをクリックすると下記画面になります。
 テスト運用中(当面)は、ゲストを選択して接続ボタンをクリックしてください。
 平成12年4月からは、ID及びパスワードを入力してください。
 (CD-ROM利用申請書を提出頂いた際にID等を発行します)



上記画面のCA on CD Folderを選択してOKボタンをクリックしてください。
 デスクトップ上にCA on CD Folderアイコンが出来ます。

(2-1)CA検索ソフトインストール

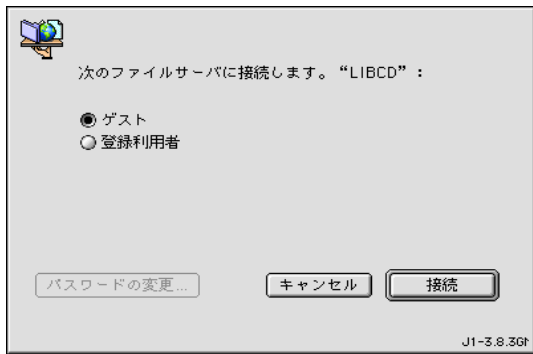
検索ソフトのインストール作業は、1回行えば次回から行う必要はありません。
 ただし、検索ソフトがバージョンアップしたときには再インストールが必要になります。
 デスクトップ上のCA on CD Folderアイコンをダブルクリックしてください。



上記インストール画面のContinueボタンをクリック後、画面の指示に従って検索ソフトをインストールしてください。
 (インストール後は再起動が必要です)

上記画面赤丸のアイコン(Network User Installer)をダブルクリックしてください。

(2-2)検索対象CD-ROMのマウント
前掲のセレクト画面内のLIBCDを選択すると下記画面になります。

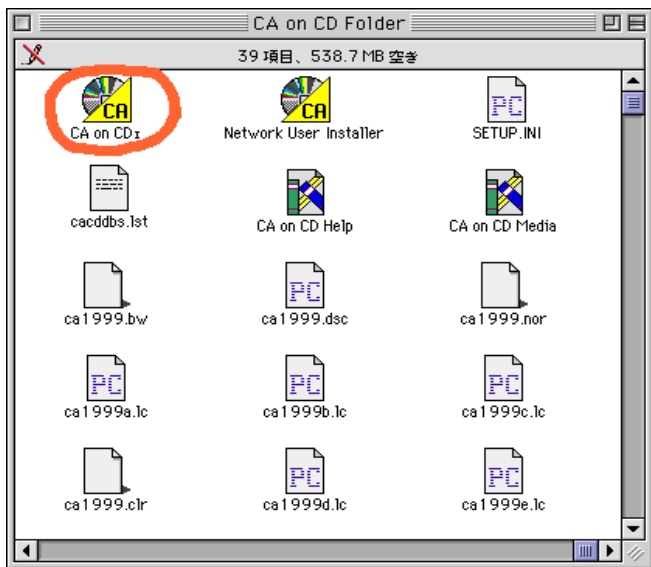


検索ソフトと同様にゲストを選択して接続ボタンをクリックしてください。

上記のCD-ROMの一覧の中から利用する年のCDを選択してOKボタンを押してください。
1年間で4枚のCD-ROMがあります。
例えば1999年を検索する場合は、CA1999A～CA1999Dの4枚をマウントします。
(IPremoteの機能上、選択画面右端のチェック欄にはチェックを付けないでください。)

3 CAonCDの検索

デスクトップ上のCA on CD Folderアイコンをダブルクリックすると下記画面になります。



上記画面赤丸のアイコン(CA on CD)をダブルクリックしてください。
CA on CDの利用方法は、ヘルプ→CA on CD Helpをご覧ください。
同時アクセスが3名に限定されています。
他の利用者のためにも検索終了後は速やかにソフトを終了(File→Quit)してください。

4 サーバとのネットワーク切断

デスクトップ上のCA on CD Folderアイコンをゴミ箱に入れて(ドラッグして)ください。
デスクトップ上のCD-ROMアイコン(例:CA1999A)等をゴミ箱に入れて(ドラッグして)ください。

アップルメニュー(リンゴマーク)→コントロールパネル→AppleTalk(下記画面)を開きます。



上記画面の経路先欄(IPRemoteになっています)を初期値のEthernet等に戻してください。
次に保存の確認画面が現れますので保存ボタンをクリックしてください。

- データ更新・サーバメンテナンス等のため予告なくサービスを停止する場合があります。

問い合わせ先
情報サービス課学術情報係
E-mail: lsgakujk@cc.gifu-u.ac.jp

図書館随想

林 崇子

医療技術短期大学部は平成11年夏に北野町キャンパスから柳戸キャンパスに移転した。この移転に伴い、図書館の利用法が大きく変わった。

広く、きれいな図書館になったといっても私達にとって不便な点がいくつかある。移転前は、講義室から徒歩3分程度のところに図書室があり、調べものをしたと思った時や、図書室に行こうと思った時等には、すぐに図書室に行くことができた。しかし、移転した今では、医療技術短期大学部の建物から10分程度歩かないと図書館に行くことができなくなった。身近にあった図書室が距離的に離れてしまったため、利用しにくくなった。

医療技術短期大学部の学生は3年次になると、病院での臨床実習が始まる。臨床実習が始まると、調べものが多くなり、図書館は欠かせなくなる。朝から夕方までの実習を終え、移転前は医療技術短期大学部の図書室へ足を運ぶことが多かったが、移転後は、医学部図書館を利用することが多くなった。以前医療技術短期大学部の図書室に置かれていた本は、医学部キャンパスにある図書館の分館と柳戸キャンパスの図書館に分けられている。本が2カ所に分けられていることで、「あの本をみたい」と思って、図書館に行ったとしても、医学部図書館にはおかれておらず、柳戸キャンパスの図書館に置か

れているために、その本を見ることができないことも度々ある。

また、移転前の医療技術短期大学部の図書室には、10人程の人がすわれる大きなテーブルがいくつかあったが、医学部図書館や柳戸キャンパスの図書館の机には一人ずつしかすわることができない。話し合いをする場としても活用していた図書室であったが、今はそのような方法で図書館を利用することはない。図書館の利用法として、話し合いの場とすることは適切ではないかもしれないが、実習で多くの悩みや疑問を抱えている私達にとっては、大切な空間であったため、不便だと感じる点の一つである。

反対に、良くなった点もある。医療技術短期大学部の図書室では私達が一番必要とする看護や医学に関する専門書は多くあるものの、その他の分野に関する本はかなり少なかった。今は、医学部図書館の利用が多くなり医学に関してより詳しく調べることが結果として増え、また柳戸キャンパス図書館の利用で、様々な領域の本と触れることも可能となった。

不便な点が多いのは明らかであるが、学習の支えとなる図書館をうまく活用していきたい。

(はやし たかこ：医療技術短期大学部3年)

お知らせ

・学術雑誌等の移動について

附属図書館本館では、学術雑誌を中心に書架が狭隘化しており、書架スペースの確保を図るため、資料保存室(旧自由閲覧室)に書架を設置しました。

これに伴って、円滑に資料の利用が出来るよう、一部の資料群を再配置する移動作業を4月下旬(予定)まで行いますので、お知らせします。

なお、移動した資料の内容については、次号に掲載します。

・CAonCD(Cheical Abstracts)CD-ROM初心者用利用入門講習会

平成12年2月21日(月曜日)と3月7日(火曜日)の両日、講師に工学部の村井利昭助教授及び農学部の石田秀治助教授をお招きしてCAonCD(Cheical Abstracts)CD-ROM初心者用利用入門講習会を附属図書館小講堂にて開催しました。(参加者は両日合わせて約90名です)

化学分野だけでなく様々な分野の情報が得られることや学内LANを使って研究室からCD-ROM検索ができること等をわかりやすく講習していただきました。

講習後はCAonCDの利用申請(平成11年度は無料)が受講された各教官から提出があり講習会の成果が早速現れています。

(平成12年度からは有料になりますのでCD-ROM利用申請書(学内専用)の提出が必要になります)

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第30号 2000年 3月31日

編集：館報編集委員会(編集委員長：宇野 尚雄)
発行：岐阜大学附属図書館
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL058-293-2184